

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	Webデザイン実習5A		
科目基礎情報						
開設学科	Webクリエイター科		コース名		開設期	前期
対象年次	3年		科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	2単位				授業形態	実習
教科書/教材	授業内にて配布、掲示する。					
担当教員情報						
担当教員	関口和真		実務経験の有無・職種	有・マークアップエンジニア		
学習目的						
本講義では、講義に加え、Webやスマートフォンでのサイト制作の技術と知識を習得する。対象となる企業や商品の特徴を捉え、自ら改善提案できる内容を抽出し、習得した技術を通して、内外全体へのプレゼンテーションが行えるよう、問題抽出と解決策を試作できることが本旨である。						
到達目標						
PHPを利用したプログラムがある程度理解できる。MySQLを通してDBシステムが理解できる。ペルソナ（ターゲットやユーザー）を考慮した最適解を生み出せるWebサイトの構築を行えるようになる。且つ、完成後のプレゼンテーションが出来るようになる。						
授業概要	1年次、2年次まで培った技術と知識を活かし、さらなる技術力の向上を図る。実際に存在する企業や商品を想定しながら、企業サイドの視点、ユーザーサイドの視点等、客観的な視点を考慮しながら技術習得を図る。					
注意点	講義に遅刻、欠席しないこと。実技課題を遅れても必ず提出すること。講義資料等の忘れ物をしないこと。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出と評価を受けることができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	プレゼン	30%	グループ内での貢献度も考慮する			
	課題完成度	30%	提出課題完成度を総合的に評価する			
	リサーチ	30%	調査結果のボリュームも考慮する			
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
授業計画（1回～15回）						
回	授業内容		各回の到達目標			
1回	講義・講義・実習①		サーバー環境の構築、利用方法、サーバーの基本			
2回	講義・実習②		PHPの基本知識、JSとの違い			
3回	講義・実習③		PHPを利用したメールフォームの作成（データの送受信方法）			
4回	講義・実習④		PHPを利用したメールフォームの作成（バリデーション方法、正規表現）			
5回	講義・実習⑤		PHPを利用したメールフォームの作成（XSS対策、確認画面表示）			
6回	講義・実習⑥		PHPを利用したメールフォームの作成（メールの送信、リダイレクト）			
7回	講義・実習⑦		データベースの基本知識、MySQLの利用（DB書き込み、取り出し）			
8回	講義・実習⑧		データベースの活用、SQL文の作成			
9回	講義・実習⑨		PHPとJSを連携させたWebサイトの作成（Ajaxの利用）			
10回	講義・実習⑩		ペルソナを用いた最適なUIの分析、競合分析			
11回	講義・実習⑪		タッチポイントを考慮した最適なメディアと手法の考察			
12回	講義・実習⑫		プロトタイプによるUI/UXの最適化手法（1）			
13回	講義・実習⑬		プロトタイプによるUI/UXの最適化手法（2）			
14回	講義・実習⑭		Webサイト、スマートフォンアプリ等作成			
15回	講義・実習⑮		プレゼンテーション／総評			